

14団体一同、にぎやかに賀詞交歓会

「販売」の運用で4団体合意

販売方法に関する運用で合意を発表した4団体の代表（左から）
里見日電協理事長、原田全日遊連理事長、深谷日遊協会長、井置日工組理事長



パチンコ・パチスロ産業21世紀

会を構成する14団体が一堂に会して、1月27日、「パチンコ・パチスロ産業賀詞交歓会」が東京・新橋の第一ホテル東京で開かれた。業界団体合同の賀詞交歓会は08年から行われ、今回が3回目となる。

参加したのは、全日本遊技事業

協同組合連合会、社団法人日本遊技関連事業協会、日本遊技機工業組合、日本電動式遊技機工業協同組合、全国遊技機商業協同組合連合会、回胴式遊技機商業協同組合、遊技場自動サービス機工業会、遊技場自動補給装置工業組合、遊技場メダル自動補給装置工業会、一般社団法人日本遊技産業経営者同友会、一般社団法人余暇環境整備推進協議会、一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会、一般社団法人プリペイドシステム協会、一般社団法人電子認証システム協議会の14団体の役員・幹部。さら

に行政当局、一般社団法人遊技産業健全化推進機構の関係者が来賓で出席し、会場は約430人でにぎわった。

冒頭、14団体を代表して原田實

全日遊連理事長、井置定男日工組理事長、里見治日電協理事長の3氏が挨拶した。原田理事長は「昨年12月に業界が心一つにして、約2年ぶりに21世紀会が開けた。業界の総力をもってすればどんな目標も実現は可能だ。われわれの業の安全には遊技人口の増加が必要不可欠だが、この経済状況の中ではお客様はホールに足を運んでくれない。気軽に遊べて癒しとなる遊技場をつくるのが急務だ」とし、さらに不正改造根絶、のめり込み対策、環境問題にも積極的に取り組んでいくことを強調した。

廣田課長「健全化へさらに努力を」

井置理事長は「パチンコは先人たちの努力で国民的遊技になった。本年、日工組は50周年を迎えるにあたって、これからも国民目線で、皆さんと手を携えて一歩一歩前進

最近の状況について意見交換する（左から）緒方右武日工組専務理事、池田仁志全日遊連経営委員長、深谷日遊協会長、里見日電協理事長



河上和雄健全化推進機構代表理事（左）に話しかける宮脇余暇進会長



左から PSA・大高時男理事長、認証協・川口昌則代表理事、PCSA・谷口晶貴代表理事、余暇進・宮脇喬介会長、同友会・高濱正敏代表理事、メダル工業会・大泉政治理事長、補給組合・梁川誠市理事長、全日遊連・原田實理事長、自工会・木原一雄理事長、回胴遊商・伊豆正則理事長、全商協・井上威夫会長、日電協・里見治理事長、日工組・井置定男理事長、日遊協・深谷友尋会長

して行きたい」と述べた。また、里見理事長は「厳しかった昨年を底にして、今年は何としてもお客様を増やし、安定した仕事ができるよう14団体が一緒になって頑張っていきたい」と述べた。

来賓の廣田耕一警察庁保安課長は「低貸玉営業の促進、低射幸性遊技機の開発など、手軽で安全に遊べる遊技の発展に歯を食いしばって努力してきたことに敬意を表する」とし、「のめり込み、不正改造など営業の健全化を損なう問題がまだ散見される。ひき続き改善に取り組んでほしい」と要望した。さらに来賓の河上和雄遊技産業健全化推進機構代表理事は「現場では依然、健全化推進の意識が行き渡っていないと痛感する。現場の雰囲気をお案した上で、健全化についてこれからも支援していただきたい」と指摘、さらに「現在、機構は健全化だけで縛りがかかっているが、業界のプラスになるような一種のシンクタンクのような活動も考えていきたい」と語った。最後に深谷友尋日遊協会長が、「健全化を推進し、そして明日の業界のさらなる発展を祈念して」、乾杯の発声をした。

温暖化、省エネ対策で5団体合意

席上、団体間で話し合われている2件の取り組みに関して合意の報告があった。一つは「問題と思われる取引条件の提示に関する情報の共有化」。昨年1月28日、全日遊連、日遊協、日工組、日電協の4団体が「遊技機販売方法に関する合意」を締結したが、その後発生案件の情報が共有するための運用面での協議が続けられていた。報告された合意内容は、①報告者の情報については、事案特定のため必要がある場合に原則として提示する ②情報の共有については、対応した事案の内容・対処等についての情報伝達・解決を迅速に行うため、当事者が所属する団体である全日遊連と日工組又は日電協のいずれかの2団体間で情報を共有し、解決例等について事後的に日遊協も含めた4団体で情報を共有する ③改善が十分でないと思われるメーカー又はホールに対して、4団体が協議の上で代表者の連名による要請文書を出し、事実確認及び事実であった場合にはその事案への対応内容並びに再発防止策について、文書による回答



熱心に話し込む(左から)井上全商協会長と高濱同友会代表理事



深谷日遊協会長、段為梁大阪府遊協理事長と歓談する廣田耕一保安課長(右から)

を求める」となっている。もう一つは環境問題に対するホール関連5団体(全日遊連、日遊協、同友会、余暇進、PCSA)の取り組みで、①「CO2削減及びライティングダウンキャンペーン」への参加登録 ②チャレンジ25キャンペーン活動への参加 ③屋内設置清涼飲料自販機の営業時間外の消灯 ④電力削減ノウハウ集、ポスターの作成——の4項目について合意を確認した。

計画案、予算案を了承 新組織制度に沿った内容で

次世代創生部会と社会貢献・環境対策部会から、新年度の事業計画案とそれに伴う予算案の概算が提出され、了承された。事業計画案等は3月の第6回定例理事会に諮られる。

日遊協の委員会制度は現在、より実効性の高い組織に改編するため大詰め作業が進行しており、1月14日の第5回定例理事会で組織改編の原案が承認された。新しい委員会は、それぞれ前身の部会が担当していた調査審議事項を概ね引き継ぐ。ただ、次世代創生部会が担当していたパチンコ・パチスロ論文・作文コンクールは、新設の広報委員会が引き継ぐ。今回提出された新年度事業計画案等は、それぞれ人材育成委員会、社会貢献・環境対策委員会としてのものとなっている。

支部単位の開催を新設 マネジメントカレッジ

人材育成委員会の事業計画案は、
①第4回遊技産業マネジメント・



カレッジ ②支部単位でのマネジメント・カレッジ ③パチンコ産業合同説明会 ④パチンコ産業活性化コンクール——など4件のイベント開催。継続事業の第4回マネジメント・カレッジの目的は、「ホール、メーカー、販社、設備など全国の企業から中堅管理者の参加を募り、参加者たちが人的交流を図りながら業界の将来を考え、問題意識を共有することで、使命感・

やる気に火をつける」としている。研修内容は、過去3回と同様、グループディスカッション、ゲストの講演、業界リーダーたちとの懇親等の構成が考えられていて、300万円弱の予算が計上されている。

支部単位のマネジメント・カレッジは、全国規模の開催とは別に、各支部の会員企業が参加しやすいエリア・単位でカレッジを開く企画で、よりきめ細かく地域の参加者を募り、支部の活性化、会員増強を目指す。研修内容の基本線は全国規模のカレッジと変わらない。パチンコ産業合同説明会の目的は、「就職活動を始めたばかりの学生に、パチンコ業界、ひいてはホール・メーカー・販社・設備の各事業についての理解を深めてもらい、業界各企業へ優秀な人材を導く。派生効果として、若年層へのユーザー開拓を期待する」としている。

共生の森は9月の下草刈りと 第3回植樹イベントに重点

パチンコ産業活性化コンクールは、論文・作文コンクールの発展バージョンと位置付け、パチンコをテーマにして音楽、映像、テレビCMなどでの作品を募集し、コンクール形式で優秀作品を世間に発

表する。パチンコとは関係のない世界にいる層に対してパチンコ業界に目を向けさせるとともに、作品はホールを含めた業界で活用する。社会貢献・環境対策委員会の事業計画案は、継続中の「共生の森」

造成事業とECOホールなど業界全体でのECO施策推進。新年度は4月に歩道のチップ敷き、6、9月に下草刈り、9月下旬にシイタケ発生操作、10月末か11月の第3回植樹——の5つのイベントで、日遊協ボランティア派遣隊などを作業に動員し、400万円強の予算を計上している。このうち必須のイベントは9月の下草刈りと10月末か11月の植樹で、残り予算は案配で縮小、中止できるとしている。ECO施策推進活動は、まずホールへの啓蒙活動として、①節電ノウハウ集と啓蒙ポスターの制作②ECOホール宣言の実施 ③環境フォーラム、ECO表彰などの啓蒙活動 ④モニタリングなどの検証活動——構想している。このうち、節電ノウハウ集と啓蒙ポスターの制作は、ホール関連5団体小委員会環境実務者会議が取り組んでいる。さらに日遊協として業界横断的にECO施策を推進していく。

セキユリティー対策委員会

所在地不明業者が大多数
攻略法詐欺「振り込め」と一致も

第41回セキユリティー対策委員会
会委員長・山田久雄日遊協副会長

が1月26日、日遊協本部会議室で開かれ、攻略法詐欺対策を話し合った。

この中で全日遊連が、雑誌などの広告やホームページに掲載されている「パチンコ・パチスロ攻略法販売」「打ち子(会員・スタッフ)

募集・勧誘」業者の東京都内の所在地(住所)をシラミつぶしに追跡調査した結果を報告した。調査件数は141業者。このうち所在地に実在していたのは16業者しかなく、残りの125業者は実在していなかった。実在していない1

25業者のうち、掲載所在地に私設私書箱・電話受付代行・秘書代行・レンタルオフィスなどを運営している代行会社が入居していた

ケースが85件、掲載所在地に異なる業者が入居していたケースが37件あった。また、警察庁のホームページで公開されている「振り込め詐欺被害者が現金等を送ってしま

った住所」と所在地が一致する業者は57業者に上り、振り込め詐欺グループが攻略法詐欺にも手を染めている実態がうかがえた。全日遊連はこの調査結果(業者名、掲載所在地等)をホームページで公開した。

新たな攻略法撲滅対策として、詐欺広告を掲載している雑誌社に対して差し止め、回収など、仮処分申請の可能性を考えていくことになった。また、「問題はもうセキユリティー対策委員会の範疇を超え、業界のすべての団体が共有していかなければならない問題になっているかも知れない。法的手順をしっかりと踏めるようなスキームを業界団体すべてが入ってつくるべきではないか」という意見も出た。

ホームページ全面改定
二次被害にも注意喚起

攻略法詐欺撲滅のためのパチンコ・パチスロ・セーフティネットのホームページが、1月から全面的に改定された。攻略法は存在しないこと、詐欺に遭った被害者が多く

出ていることが、より前面に打ち出されている。

最初のページに、「ちょっと待て！攻略法の打ち手(サクラ)募集の甘い誘惑」とのキャッチフレーズで、①偽求人やスタッフ募集を装った勧誘 ②ダイレクトメールやパソコン・携帯メールによる勧誘 ③雑誌やインターネットによる攻略法の勧誘 ④既存被害者への二次勧誘——の基本的な4つの事例を掲げ、それぞれの事例をクリックすると手口の詳しい説明のページに入る。

また、ホルルのトイレなどに貼って利用できるように、A3、A4の2サイズでダウンロードできる注意喚起用のポスターが3種類添付されている。セキユリティー対策委員会では、全日遊連、日遊協、同友会、余暇進、PCSAのホームページ5団体に、それぞれのホームページへリンクしてもらおうとともに、組合員、会員にポスターを利用してもらうよう要請していく。

12月のPSIO入力数は479件。前年12月より100件近く増加した。昨年1年間で見ると、オープンネット(業界関係者、一般ファンからの不正情報入力)は6628件で、前年より約2000件の増加だった。増加分のほとんどは一般ファンの携帯電話からの情報提供で、08年の2803件に対して昨年は4638件に上った。携帯電話からの受付は05年から始まった。05年は262件しかなかったが、翌06年は1508件となり、以後急激に増加している。

PSIO入力状況
携帯情報が大幅に増加
09年累計で2000件近く

不正対策室会議(室長・伊東愼吾日遊協常務理事)は1月25日、日遊協会議室で開かれ、昨年12月のPSIOの入力状況の報告や12月1日のゴト情報の分析などを行った。

ゴトに関しては電磁波ゴトが遊技機から周辺機器に広がり、小型化している。ぶら下がりゴトは設置時間が早まり、その作業のためにゴトグループが大人化し、なおかつ暴力的傾向が見られた。



攻略法詐欺に注意を呼びかけるダウンロード用ポスターの1枚

渋滞解消に駐車場を 株玉屋が中洲で貸し出す

パチンコ店の駐車場が交通渋滞解消のために貢献することになった。九州最大の歓楽街である福岡市・中洲地区は夜間に客待ちのタクシーが駐車し、渋滞が慢性化して苦情が多く社会問題化していた。博多警察署が、福岡市、国土交通省、福岡市タクシー協会などと連携し、駐車場確保の手段として、(株)玉屋(岩見吉朗代表)の駐車場活用を申し入れ、同社が2月からの運用を受け入れた。

(株)玉屋の駐車場は中洲地区に近く、10階建てで、6階〜屋上部分の約400台を夜間有料で貸し出し渋滞解消へ協力することになった。博多署は、利用者の意見や渋滞状況を調査し、本格運用するかどうかを決める。

市民基金に2000万円

北海道支部 株太陽グループに感謝状

パチンコ店経営の(株)太陽グループと同社の東原俊郎社長が、まちづくり活動を行う市民団体に助成する札幌市の「さぽーとほっと基金」に計2000万円を寄付し、12月

22日上田文雄市長から東原社長に感謝状が贈られた。同基金は昨年度から始まり、今年度は目標額に届かなかったが、これで3150万円を超えた。1企業、1個人からの寄付では過去最高だった。

東原社長は「官民一体の時代で、こういう活動をしたかった」と話している。

北海道支部

(株)正栄プロジェクトが 「プロバスケット」のスポンサー

プロバスケットチームのレラカムイ北海道は1月15日、初のユニホームスポンサーとして道内を中心にパチンコ店「イーグルグループ」を経営する(株)正栄プロジェクトと2年契約を結んだことを発表した。16日のリンク栃木戦からホーム

戦のみ、背中に「EAGLE GROUP」のロゴが入る。スポンサー料は勝利数に応じて増える仕組みで、年間最大3500万円程度。正栄プロジェクトの美山正広代表取締役は「レラカムイは若いファンが多く、集客効果もある」と契約理由を説明した。会場ではパチンコ店のPRはせず、同社が取り組む臓器移植などの社会貢献事業を紹介する。チーム創設3季目で初の大口ス

ポンサー獲得となり、レラカムイの桜井主将は「ほっとしている。今まで以上に結果を残したい」と話していた。

東京都・関東支部

総会など内容を協議

東京都・関東支部役員会が1月20日、日遊協本部会議室で開かれ、庄司孝輝支部長ら9人が出席し今年度の活動日程について協議した。3月16日に東京・上野で開かれる支部総会は、活動報告、役員改選のほか、脇谷裕一警視庁生活安全部保安課長の講話をはじめ講演などを行うことになった。7月13日の不正対策勉強会(グラウンドアーク半蔵門)の準備を進め、昨年好評だったチャリティゴルフコンペを今年も開催することを決めた。

店長等講習・試験

5月に仙台で

ホール最前線の店長や店長候補者に、健全な営業に資する心構え・知識・技能等を身につけてもらうため、日遊協が関係団体の協力を得て行う店長等講習・試験が、5月に仙台市で行われる。

遊技産業マネジメント・カレッジなど、企業の中堅幹部を対象にした日遊協主催の研修にホール企業から参加するとき、原則として店長等講習・試験の合格者に交付される「合格証」の取得が条件となる場合が多いので、とくにホール企業の社員には受講・受験をお勧めする。非会員企業からの参加も歓迎する。

〔仙台会場〕5月14日(金)

メルパルク仙台

午前10時開始、午後5時前終了。受講・受験料は日遊協会員1万7200円、非会員2万2450円。希望者は日遊協事務局に申込用紙を請求する。定員に達すると締め切る。

日遊協事務局

電話 03・3553・4333(代)
FAX 03・3553・4334

主要指標 パチンコ業界全体 前回現状は09年9月調査時の結果

項目	D.I.値			業界天気		コメント
	前回現状	現状	見通し	現状	見通し	
1.全般的業績	-38.5	-41.5	-11.1	晴	晴	全般的業績は、前回のまま。数値は過去最悪を更新。見通しは晴。
2.稼働状況(パチンコ)	-37.7	-42.7	-17.1	晴	晴	現状引き続いて曇雨。先行き見通しは晴。数値は過去最悪に。
3.稼働状況(パチスロ)	-39.5	-24.7	-17.3	晴	晴	現状引き続いて曇雨。先行き見通しは晴。
4.資本投入気運の変化(台)	-24.1	-11.7	-31.7	晴	晴	現状引き続いて雨。先行き見通しもは曇雨に。
5.資本投入気運の変化(投資)	-6.8	-16.9	-22.0	晴	晴	現状は数値を下げ振りから雨に悪化。見通しも数値を下げらる。
6.営業用設備の不足感	5.1	-4.9	-7.3	晴	晴	設備不足感も数値を下げらる。見通しも数値を下げらる。
7.雇用人員の不足感	2.6	8.5	8.5	晴	晴	人材不足感はやや拡大。

天気記号 使用基準

記号	数値	記号	数値
晴	30.0〜	雨	-29.9〜-10.0
晴	10.0〜29.9	曇	〜-30.0
曇	-9.9〜9.9	曇雨	
曇		曇	

〈代表者変更〉

株式会社銀座

(愛知県瀬戸市山の田町43・436)

代表取締役社長・古川哲朗

12月9日。

株式会社日光商事

(愛媛県新居浜市高木町3・13)

代表取締役社長・川井祐介

12月21日。

セーラー万年筆株式会社

(東京都江東区毛利2・10・18)

代表取締役社長・中島義雄

12月25日。

コムシード株式会社

(東京都千代田区神田小川町1・3・

1 NBF小川町ビル5F)

代表取締役社長・坂入万弘

1月14日。

株式会社アムテックス

(群馬県伊勢

崎市香林町2・1818)

代表取締役社長・町田徹

1月1日。

〈人事〉

株式会社玉屋

(福岡市中央区春吉3・

12・1)は1月1日付けで、岩見吉

朗代表取締役社長が代表取締役会長

に、渡邊博春代表取締役専務が代表

取締役社長に就任した。岩見氏は現

在、日遊協相談役。

〈新規入会(賛助会員)〉

株式会社ワイ・ケイ・ディ

(東京都中央区大伝馬町3・9

グリーンパークビル6F)

代表取締役・川瀬育子

1月14日。

DATA SPOT

業況判断で最低値を更新 小、中が悪化、大規模だけやや改善

㈱エンタテインメントビジネス総合研究所はこのほど、ホールを対象にした昨年12月期のパチンコ景気動向指数(DI)調査をまとめた。全般的な業況判断DI値はマイナス41.5で、前回調査(9月)のマイナス38.5より3ポイント悪化し、過去最低数値を更新した。規模別DI値では、小規模事業者(1~3店舗)、中規模事業者(4~10店舗)がそれぞれマイナス54.8、同52.6と前回より12~14ポイント悪化し、大規模事業者(11店舗以上)はマイナス21.9で前回より15ポイント弱改善した。

1年間下がり続けた店舗数

全日遊連は1月20日、店舗数、遊技機台数の2009年12月分を発表した。営業店舗数は2009年の間下がり続け、昨年同月比で292店舗減となり回復の兆しは見られない。昨年を越えた。パチンコ機は、9万5402台増(昨年12月283万1788台)、パチスロ機は11万4327台減(昨年12月138万821台)と傾向は変わらなかった。〈注〉店舗数および遊技機台数は、各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。

全日遊連加盟店舗数・遊技機台数

2009年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数 (当月発生分)	遊技機台数			総台数
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	※その他	
1月	11,888	18	58	163 (34)	2,828,976	1,366,962	160	4,196,098
2月	11,853	13	52	156 (19)	2,836,772	1,353,788	161	4,190,721
3月	11,840	25	51	142 (21)	2,852,573	1,340,625	166	4,193,364
4月	11,839	33	41	126 (12)	2,877,802	1,325,816	165	4,203,783
5月	11,823	20	44	120 (10)	2,883,537	1,318,533	165	4,202,235
6月	11,787	13	52	122 (16)	2,883,777	1,309,778	165	4,193,720
7月	11,772	20	46	112 (12)	2,898,148	1,297,143	165	4,195,456
8月	11,772	37	43	106 (14)	2,909,795	1,291,021	165	4,200,981
9月	11,756	16	31	104 (14)	2,916,536	1,284,900	165	4,201,601
10月	11,725	13	36	110 (19)	2,917,941	1,278,429	165	4,196,535
11月	11,689	10	42	114 (20)	2,917,080	1,274,924	160	4,192,164
12月	11,672	29	36	110 (19)	2,927,190	1,266,494	156	4,193,840

「客単価の減少」の心配急増

現在の悪業績の理由は、「来店客数の減少」(66.7%)、「客単価の減少」(21.2%)の順で、とくに「客単価の減少」を挙げる意見が急増し、3か月後の見通しでも23.8%とさらに増えている。また、経営上の課題では、「同業他社との競争激化」「人材教育・育成」「メーカーの遊技機販売の縛り」が上位を占め、「時間帯・曜日などで客の偏り」も徐々に上昇している。

この厳しい状況が底を打つ時期についての設問では、「10年中」が35.1%と一番多かったがそれでも3分の1にとどまった。時期を特定せず「ある条件が整ったとき」との回答が28.1%あり、その条件として「景気回復」「デフレからの脱却」「遊技機価格の低下」「射幸性(遊技単価)を抑えた遊技機の登場」などのコメントが多かった。

調査は日遊協、同友会、余暇進、PCSAの協力で全国の有効パチンコ店経営企業を対象に行われ、60社の有効回答を得た。

貯玉補償基金加盟状況

	店舗数	前月比
北海道	174	+5
東北	438	+10
東京	320	+9
関東	1049	+53
中部	284	+12
近畿	465	+21
中国	160	+14
四国	86	+5
九州	470	+13
全国計	3446	+142

(09年12月30日現在)



イスのことなら何でもご相談下さい

株式会社 高山商店

本社 / ☎ 052 (301) 0337

名古屋市港区藤前1丁目1174番地(〒445-0855)

■お問い合わせは ☎ 0120111337

Mail: nagoya@isu-takayama.com

URL: isu-takayama.com